

日本製Tシャツを多くの人に。 その仕掛けづくりがおもしろい！



久米繊維工業株式会社
甲斐 誠さん(39歳)

東京都出身。大学卒業後、久米繊維グループのTシャツキャラクシー株式会社に入社し、リアル店舗やネットショップの店長を経験。事業の編入に伴い、久米繊維工業株式会社に異動。現在はTシャツプロデューサーの肩書きで幅広く活躍中。



商談に欠かせないのが布の色見本帳。実際に出来上がったTシャツを見て、触ってもらいながら説明します

**おもしろいことができそうな予感。
それが入社を決めたポイントです**

お客様と直に接する店舗運営がしたいと思って就職活動をしていたとき、ネットを使った事業を始めるので説明会に来ないかと誘われたのが、入社のきっかけ。ネットショップと実店舗を展開する会社を立ち上げるの聞き、ここならおもしろいことができそうだなと思ったのです。社長(現会長)が「中小企業ということで親御さんに反対されたら一緒に説得する」と言ってくれたのが決め手になりました。いきなり1年目で店長に。悩む暇もないほどの忙しさでしたが、自由にやらせてもらえて楽しかったですね。現在は事業ごと本社に編入しましたが、入社1〜2年目に商品の注文から発送、経理までを学び、多くのことを経験できたことは幸でした。

**日本製Tシャツにこだわり
ものづくりの技術を残していく**

弊社はこれからも「日本製」で勝負していきます。その「日本製Tシャツ」を多くの方に着ていただくことが、結果として職人の技術を残していくことにつながる。そうなるために、必要とされる商品やイベントを生み出すのが私の役目だと思っています。社会に出れば学ばなければならぬことがたくさんあり、私もまだ勉強中。でも、それこそが仕事のやりがいです。興味があるジャンルだけでなく、さまざまなことを学び、吸収していきましょう。

営業&プロデューサー

お客様から商品の依頼を受け、工場への発送指示や製作指示を行うほか、お客様への企画提案も行う。久米繊維工業はOEMだけでなく、自社ブランドを製作し小売り事業も行っているため、甲斐さんは一般的な営業の役割に加えて、製品を必要とされる場所に提供していくための仕掛けを生み出すプロデューサーとしての役割も担っている。日頃からいろいろなジャンルにアンテナを張り、常に新しいことを学ぶ姿勢が必要だ。

甲斐さんのお仕事とは？



お客様との商談では、予算も瞬時に考えつつ提案していきます。それには、経営者的な目線も必要なんです

**自分たちで仕掛けていくための
企画提案も営業の大切な仕事**

10年ほど前から自社ブランドも販売。ホームページを見たお客様から直接依頼がくるケースも増えています。会社としては今でもOEM(相手先ブランド名での製造)も承りますが、お客様から注文をいただき、それを作って納めるだけの営業ではなく、「この商品を使ってこういうものを作ってみませんか」という提案を積極的にしています。

職種は営業ですが、名刺の肩書きは「Tシャツプロデューサー」。企画提案も大切な仕事になっています。Tシャツをからめたコラボレーションやイベントを自分たちで仕掛け、ときには中心となってイベントを開催することも。これまでも様々な企業やNPO、NGOと一緒に組んできました。そのなかでいろいろな情報に触れ、そこから次のアイデアを考え、また新しいものを作って成功例にしていく。そうやって営業の幅を広げています。

**Tシャツでお客様が笑顔になる。
それが一番うれしい瞬間です**

営業のおもしろさは、企画から商品をお渡しするところまで、すべてに関われること。Tシャツを作



1日1回、1時間半ほど店舗に立ち、スタッフと商品を見ながら意見交換も

甲斐さんの とある1日のスケジュール

- 6:00 起床
- 通勤電車の中でラジオを聴いたり、本を読んだり。いろいろなジャンルにアンテナを張る
- 8:20 出社
- 8:30 朝礼
- 9:00 当番制で店舗等の掃除
- 9:30 メールチェック
- 10:30 お客様への電話
- 工場への指示書書き
- 1日1回は店舗に立ち、一般顧客にも対応
- 12:00 昼食・休憩
- 13:00 メールチェック
- お客様のところへ。話を伺い、商品や企画の提案も
- コーヒープレイク
- 帰社後、工場への発注指示、発送業務
- 18:00 退社
- 時にはお客様と同僚と飲み
- 19:30 帰宅
- 子どもの相手をしながら体幹トレーニング。夕食
- 22:00 就寝

久米繊維工業株式会社

墨田区太平3-9-6
TEL 03-3625-4188

昭和10年、久米メリヤス製造所として創業。終戦後、日本製Tシャツの原型「色丸首」を商品化。昭和35年、久米繊維工業株式会社設立。現在は、オーガニックコットンやグリーン電力を使用するなど、人と環境にやさしい「日本こそ創りえるTシャツ」を生産。デザインから販売まで一貫して行う国産Tシャツ独創企業として、NPOや企業と共同のプロジェクトやイベントの開催、アーティストとのコラボレーションを手がけている。

取材しました！



Tシャツについて話す甲斐さんは本当に楽しそう。会社の規模より、何ができるかを重視して入社を決めたというのがよくわかりました。